

## 疫学研究実施のお知らせ

当科では当院の医の倫理委員会の承認を受けて、以下の疫学研究を行っております。

研究課題名	<b>造血幹細胞移植における造血幹細胞輸注時有害事象の実態調査</b>
研究の目的	造血細胞輸注の際に混入している各種血液細胞やその成分、保存液（DMSO、HES等）、抗凝固液（heparin、ACD等）によって発生する有害事象の種類・頻度・重症度を正確に把握し、安全な造血細胞移植に役立てること
研究の対象	造血幹細胞移植を新たに行われるすべての症例
研究の方法	患者の年齢、性別、診断、血液型、輸血歴、移植歴、身体所見、輸注後における異常の有無、移植細胞数等を調査し、アンケート票に記載します。データは造血幹細胞移植において通常行われているものを用い、新たな検査等は一切行いません。アンケート票は研究事務局（福島県立医科大学）にFAXまたはemailされます。
研究の意義	造血幹細胞移植輸注において有害事象の種類・頻度・重症度を正確に把握し、より安全な方法が明らかになることが期待できます。
研究実施期間	2015年2月から2015年8月まで

この研究の対象となる当院の患者さんで、ご自身の情報を研究に使ってほしくないとのご要望がありましたら、2015年8月31日までの間に下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

この研究についてご質問がありましたら下記までお問い合わせ下さい。

<問い合わせ・連絡先>

島根大学医学部附属病院 腫瘍・血液内科 高橋 勉

電話：0853-20-2308 ファックス：0853-20-2525